



中札内村ふるさと納税返礼品

予算 2022

みんなでつくる！
自然と笑顔になるまち
なかさつない

も く じ

令和4年度予算のポイント	1
本年度予算で行う主な事業の紹介	
1 みんなが主役のまちづくり	2
2 優しさと安心が繋がるまちづくり	3
3 文化と学びが紡ぐまちづくり	5
4 元気あふれるまちづくり	7
5 潤いと安らぎのまちづくり	9
国民健康保険特別会計	11
介護保険特別会計	12
後期高齢者医療特別会計	14
簡易水道事業/公共下水道事業	15
一般会計歳入の概要	16
一般会計歳出の概要	19
村の財政状況について	
財政状況はどうなっているの？	20
借金はどれくらいあるの？	22
貯金はどれくらいあるの？	23
財政用語解説	24

令和4年度 予算のポイント

今年度は、森田村長2期目の村政運営において、はじめての当初予算編成であるとともに、村長公約を反映した第7期まちづくり計画の初年度となります。【優しく穏やかな村】を目指し、これまで重点施策として取り組んできた子育て支援等の福祉政策の充実のほか、美しい環境で・健康的に・文化的に暮らしていくため、「日本で最も美しい村」連合と連携した事業や七色献立プロジェクトを核とした健康づくり、音楽を柱とする文化の村づくり事業にも引き続き取り組んでいきます。

また、まちづくりのテーマである村民一人ひとりがまちづくりの主役という認識の下、恵まれた自然条件を活かした農業や観光などの地域産業を育み、幸せな笑顔であふれるまちを目指した「みんなでつくる！ 自然と笑顔になるまち なかさつない」を実現するため、下記の5つの基本目標（まちづくり）に沿って、作成しています。

みんなでつくる！ 自然と笑顔になるまち なかさつない

みんなが主役の
まち

優しさと安心が
繋がるまち

文化と学びが
紡ぐまち

元気あふれる
まち

潤いと安らぎの
まち

予算総額
70億6,607万円
一般会計
55億330万円
(前年度比7.9%増)

一般会計では、前年度比7.9%増となります。前年度は村長改選期のため、当初予算を骨格予算編成としていました。村長就任後の補正予算(肉付け予算)との比較では、6.2%増であり、今後の健全財政維持のために行う役場新庁舎建設事業に係る地方債の繰り上げ償還分やふるさと納税総額を8億円(前年比+2億円)としたことが主な要因です。

各会計別予算

(単位：万円・%)

会 計 名	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
一 般 会 計	55億 330	51億 20	4億 310	7.9
国民健康保険特別会計	4億7,900	4億8,030	▲130	▲0.3
介護保険特別会計	3億3,060	3億2,050	1,010	3.2
後期高齢者医療特別会計	7,980	7,390	590	8.0
合 計	63億9,270	59億7,490	4億1,780	7.0

公営企業会計予算

(単位：万円・%)

会 計 名	令和4年度
簡 易 水 道 事 業	2億7,520
公 共 下 水 道 事 業	3億9,817
合 計	6億7,337

(※) 簡易水道と下水道は、令和4年度から公営企業会計に移行することから、前年度との比較ができないため、令和4年度予算のみ記載しています。

本年度予算で行う 主な事業の紹介

事業の
種類

新規

令和4年度に新しく
実施される事業

拡充

既に実施されている
事業の拡充

継続

継続して実施する
事業

1 みんなが主役のまちづくり

協働、村民参画

継続 ふるさと納税の推進

本村に寄附していただいた村外の方に村の特産品を返礼品として送り、村の魅力発信と特産品のPRを行います。また、ふるさと納税を通じて全国に村のファンをつくり、関係人口の増加を目指します。



事業費 5億3,584万円

ふるさと応援寄附金 5億3,500万円 一般財源 84万円

総務課企画財政グループ

拡充 ふるさとづくり事業補助金

個人や団体等が自ら企画した公益性の高い事業に要する費用を助成し、地域の活性化を図ります。

令和4年度から助成率及び限度額を引き上げます。

- ・助成率：補助対象経費の4/5（R3まで1/2）
- ・限度額：150万円（R3まで50万円）

※ まつり振興事業補助金は、事業目的が同一であることから、ふるさとづくり事業補助金に一本化します。

事業費 493万円

基金 493万円 一般財源 なし

総務課企画財政グループ

新規 川越友好都市サミット 参加事業

令和4年度に市政施行100周年を迎える友好都市川越市において、友好都市サミットが開催されます。村民から一般参加者を10名程募集し、サミットへの参加と川越市内観光・川越まつり見学などを行います。

- ・一般参加への費用助成
- ・日程：10月14日（金）～16日（日）予定
- ・内容：サミットへの参加、川越市内観光及び川越まつりの見学など

事業費 70万円

一般財源 70万円

総務課企画財政グループ

新規 応援大使 PR・ イベント事業補助金

村ファイターズ応援大使事業実行委員会へ助成し、PR看板の製作や応援大使の等身大パネルの設置などのPR活動と応援観戦ツアー等のイベントを行います。



事業費 280万円

基金 280万円 一般財源 なし

総務課企画財政グループ

2 優しさと安心が繋がるまちづくり

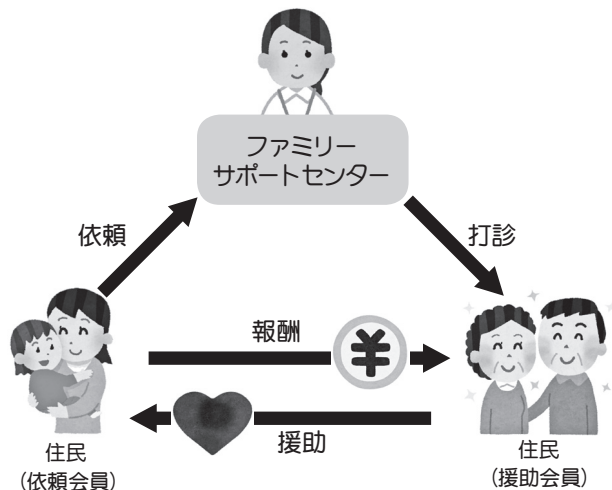
保健福祉

新規 子育て援助活動支援事業

子育ての援助を受けたい方（依頼会員）と、子育ての援助を行いたい方（援助会員）と連絡、調整等を行い、地域における育児の相互援助活動を推進します。

【内 容】

実施内容	・ファミリーサポートセンター運営 ・相互援助活動 ・利用料助成
助 成 率	1/2（ひとり親、非課税世帯は3/4）



事業費 191万円

国補助 60万円 道補助 60万円 一般財源 71万円

福祉課福祉グループ

継続 高齢者民間バス運賃助成事業

70歳以上の高齢者を対象として十勝バス広尾線を無料で利用できるようバス運賃を助成します。

●令和3年度登録者数：257人
（令和3年度：30人、令和2年度：227人）



事業費 300万円

基金 300万円 一般財源 なし

福祉課福祉グループ

継続 新型コロナウイルスワクチン接種事業

安全、安心かつ迅速に接種を進めるための接種体制を確保するため、LINEシステムを導入、コールセンターを設置し、予約に関する利便性の向上を図り、円滑なワクチン接種を行います。



事業費 395万円

国補助 395万円 一般財源 なし

福祉課保健グループ

拡充 七色献立プロジェクト事業

地場産野菜の健康効果や栄養バランスの良い野菜料理などの普及啓発を行い、地域全体の食生活改善による村民の健康長寿の延伸を目指します。令和4年度は、健康ポイント事業を軸とした医療やスポーツ部局と連携した取組により、運動の習慣化を促進します。



【拡充事業】

- ・健康ポイント事業参加者を対象とした医療費等分析による結果報告会の実施。
 - ・民間企業と連携し、健康ポイント事業の普及啓発やイベントを開催します。
- また、受付窓口を拡充し、住民の利便性の向上を図ります。



※写真は七色献立 彩りメニュー料理の一例です。

事業費

1,153万円

国補助 547万円

基金 500万円

参加者負担金 50万円

一般財源 56万円

福祉課保健グループ

継続 産前産後支援ヘルパー事業

家事や育児が困難な家庭に対し、ヘルパーを派遣することで、産前・産後の子育て家庭の身体的・精神的負担を軽減します。

対象者	妊婦及び1歳に達する日までの子どもを養育する世帯。
実施内容	育児中の家族の産前・産後における家事手伝い。



事業費 25万円

利用者負担金 3万円

一般財源 22万円

福祉課保健グループ

継続 産後ケア事業

母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み母子とその家族が健やかな育児ができるように支援します。

対象者	訪問型は産後1年未満 (デイサービス型は産後6ヶ月未満)
実施内容	母親の身体的並びに心理的ケア、適切な授乳ケア、育児手技についての具体的な助言及び相談を助産師が行います。

事業費 100万円

国補助 50万円 利用者負担金 4万円 一般財源 46万円

福祉課保健グループ

拡充 運動教室の開催

運動教室を開催して、コロナ禍での外出自粛の影響による運動不足の解消・体力の増進を図ります。

- ・運動習慣プログラム
- ・村民体育館利用促進事業
- ・スカイアース連携事業



事業費 141万円

国補助 125万円

一般財源 16万円

教育委員会教育グループ

新規 中札内交流の杜 暖房制御機器更新

老朽化している暖房制御機器と湯温調整弁を更新します。



事業費 304万円

一般財源 304万円

教育委員会教育グループ

新規 文化創造センター ハーモニーホールステージ 床改修工事

建設から長年経過し、劣化が進んでいることからステージの床を改修します。



事業費 535万円

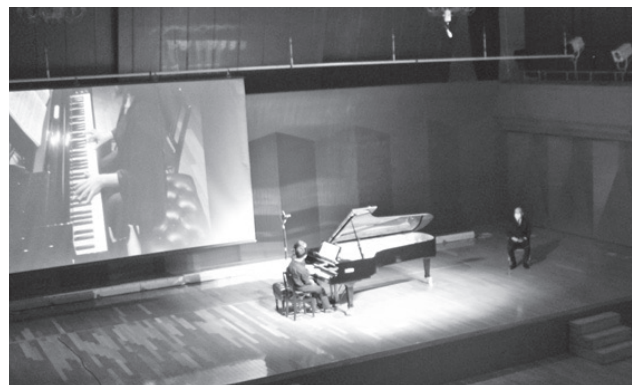
基金 530万円

一般財源 5万円

教育委員会教育グループ

継続 文化振興奨励事業

村民が自主的に芸術文化に取り組むための環境整備を推進し、すべての世代で優れた芸術や文化に触れる機会が増えるよう補助をします。



事業費 950万円

基金 950万円

教育委員会教育グループ

3 文化と学びが紡ぐまちづくり

社会教育、学校教育

新規 中札内小学校外部塗装 ・ 屋上防水等工事

建設から30年近く経過していることから外壁及び屋上防水改修工事を行い、学校施設の長寿命化を図ります。(令和5年度までの2か年工事)

令和4年度予算では、校舎外壁の塗装と屋上の防水改修、屋外用具庫の外壁と屋根の塗装を行います。



事業費 1億3,398万円

地方債 1億2,050万円 基金 1,340万円 一般財源 8万円
教育委員会教育グループ

新規 GIGAスクール運営 支援センター業務委託

1人1台端末環境による教育活動が実施される学校で、学校への支援をワンストップで担う「支援センター」を整備し、ICT支援人材の拡充等を図り、自立して活用をすすめる運営支援の体制を構築します。



事業費 295万円

国補助 58万円 一般財源 237万円
教育委員会教育グループ

拡充 検定チャレンジ受験料 補助金

検定試験にチャレンジする児童生徒に対して、英語、漢字及び数学の検定料について補助金を交付します。1人につき、令和4年度中3回(うち1回は英語検定)を上限とします。



事業費 31万円

基金 31万円 一般財源 なし
教育委員会教育グループ

継続 高等学校就学 支援対策事業補助金

高等学校や高等専門学校等に就学する生徒の保護者などに支援金を交付し、経済的負担の軽減を図ります。

対 象	学校教育法に定める高等学校又は高等学校専門学校等に修業年度までに在学している高校生などを監護している方(3年間の補助)
補助額	高校生など1人あたり月額1万円

事業費 1,296万円

基金 1,296万円 一般財源 なし
教育委員会教育グループ

4 元気あふれるまちづくり

農業、林業、商工業、観光

拡充 元気な農業サポート補助金

新・元気な畑づくり事業の後継として創設し、農家が土づくりのために行う小規模土地改良事業や耕地防風林造成への助成を継続するほか、令和4年度からは、ストーンクラッシャー、耕地防風林の伐根、浸透層の修繕、土壌診断、集積場取付道路の整備、廃プラスチック処理費用を新たに助成します。（浸透層設置事業及び集積場取付道路整備事業は村と農協で助成）

客土	3,500円以内／台（1経営体60台上限）
除礫	○運搬12,500円以内／1往復 ○機械3,000円以内／時間（1経営体50時間上限）
ストーンクラッシャー	○5,000円以内/10a（1経営体2ha以内／年）
耕地防風林助成	○植栽1箇所50,000円以内／年 ○伐根 風倒木処理事業費1/2（1経営体200,000円以内／年）
浸透層	○設置 事業費1/2以内（補助金負担割合：村1/2・農協1/2） 1基300,000円以内／年（1経営体通算5基上限） ○修繕 事業費1/2以内 1基100,000円以内／年
土壌診断	事業費1/2以内（1経営体10,000円以内／年）
集積場取付道路	整備 事業費1/2以内（補助金負担割合：村1/2・農協1/2） 1経営体250,000円以内／年
廃プラスチック	処理費用額1/4以内（1経営体30,000円以内／年）

事業費 800万円

基金 700万円 寄附 100万円 一般財源 なし

産業課産業グループ

新規 大規模草地育成牧場 設備補修工事

牛の横臥動作等に支障が出ていることから、牛舎内のストール（区切り柵）の高さ調整と補強を行います。



事業費 484万円

基金 480万円 一般財源 4万円

産業課産業グループ

新規 大規模草地育成牧場 道営草地畜産基盤 整備事業負担金

令和6年度から道営事業による草地整備型公共牧場整備事業を実施するため（村内大規模農家の育成牛の増頭や飼料の確保）、調査設計を行います。

事業費 150万円

基金 150万円 一般財源 なし

産業課産業グループ

4 元気あふれるまちづくり

農業、林業、商工業、観光

新規 西札内林業専用道 ・ 全体計画調査委託 ・ 測量設計委託

将来の施業に備え、林業専用道整備のための全体計画調査を行います。全体計画調査では、自然環境に与える影響や社会環境に関する調査、路線計画の策定等を行います。

また、林道の崩れが原因で施業できていない森林について、森林の持つ多面的機能を十分に発揮させるための間伐を実施するため、林業専用道の開設工事に伴う測量及び設計を実施します。

事業費 1,400万円

道補助 714万円 地方債 680万円 一般財源 6万円

産業課産業グループ

拡充 商工業プロモーション 推進事業

事業者が取り組む販売促進や新型コロナウイルス感染予防の取組みを補助します。

令和4年度は、セルフレジ導入費用の一部についても補助します。



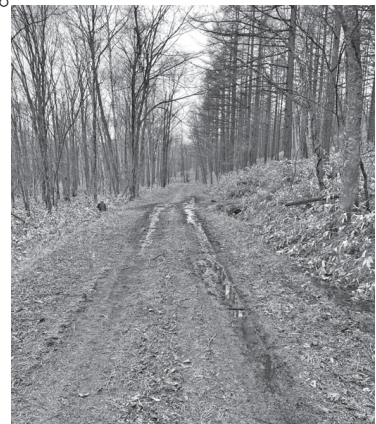
事業費 750万円

国補助 750万円 一般財源 なし

産業課産業グループ

継続 村有林整備工事

人工林資源の計画的かつ効率的な植栽、保育、除間伐事業を推進し、多様な機能による活用を促進します。



事業費 2,663万円

道補助 1,846万円 一般財源 817万円

産業課産業グループ

継続 日高山脈国立公園化 PR事業

日高山脈襟裳国定公園の国立公園指定が令和4年12月以降へ変更されました。雄大な自然環境と日高山脈の魅力を発信し、引き続きPR事業を実施することで国立公園化に向けた機運をさらに高めます。



事業費 240万円

基金 240万円 一般財源 なし

産業課産業グループ

新規 鉄道記念公園整備工事

子どもたちが、遊具で体を使って遊べる公園として、鉄道記念公園を整備します。噴水や遊歩道、複合遊具などを設置し、利用しやすい環境をつくります。



事業費 1億6,999万円

基金 1億6,990万円

一般財源 9万円

施設課施設グループ

継続 橋梁・道路の長寿命化事業

村橋梁長寿命化計画に基づき、橋梁補修工事を行います。また、老朽化や劣化により車両走行に支障がある路線について順次、舗装補修工事を行います。

●橋梁補修工事 元更別2号橋

●舗装補修工事 西戸蔭・東戸蔭40号



事業費 2,860万円

国補助 824万円

地方債 1,350万円

基金 660万円

一般財源 26万円

施設課施設グループ

継続 公営住宅改修工事

長寿命化計画に基づき、公営住宅の居住性向上等の改修を図り、長期的な維持管理費の縮減を目的として実施します。

●あけぼの団地2棟6戸



事業費 4,400万円

国補助 1,044万円 地方債 2,750万円 一般財源 606万円

施設課施設グループ

新規 発電機等整備工事

地域の防災機能を強化するため、上札内地区の指定避難所である上札内交流館において、停電時に対応した非常用発電機の整備を行います。



事業費 1,038万円

地方債 1,030万円

一般財源 8万円

総務課総務グループ

5 潤いと安らぎのまちづくり

環境保全、生活基盤、防災

新規 道道中札内停車場線 周辺整備工事

パーゴラや噴水が老朽化により、破損していることから、歩行者の安全や市街地の景観形成を目的とした撤去等の周辺整備を行います。



事業費 600万円

基金 600万円

一般財源 なし

施設課施設グループ

新規 コミュニティバス 実証試験運行

日曜日の運行需要を把握するため、毎月第1日曜日に市街地方面ダイヤの試験運行を1年間実施します。



事業費 47万円

一般財源 47万円

総務課企画財政グループ

継続 高齢者安全運転サポート補助金

65歳以上の高齢者が所有する自動車について、安全運転サポートカーとなる安全装備車に更新する場合に補助します。

※ 令和4年度が事業の最終年となります。

● 令和3年度実績：28人

● 内容



種類	内容	補助金額
補助対象車両 購入補助金	衝突被害軽減ブレーキ	登録車 6万円 軽自動車 3万円 中古車 2万円
	衝突被害軽減ブレーキ ＋ ペダル踏み間違い 急発進等の抑制装置	登録車 10万円 軽自動車 7万円 中古車 4万円
後付け装置導入補助金	自己負担分を補助	

事業費 204万円

基金 204万円

一般財源 なし

総務課総務グループ

国民健康保険特別会計

4億7,900万円

国民健康保険特別会計の基金（貯金）残高 1億1,460万円

(令和3年度末見込)

<加入対象者>

職場の健康保険や共済組合等に参加している方、生活保護を受けている方などを除いて、その市町村に住んでいる75歳未満の方はすべて国保の加入者（被保険者）となります。

<国民健康保険制度>

国保は、病気やけがをした時に安心して病院にかかることができるよう、加入者の皆さんでお金を出し合ってお互いに支えあっていく制度です。

<国民健康保険制度のしくみ>

安定的な事業運営を図るため、平成30年4月から、財政運営の主体がこれまでの市町村から北海道になりました。

国保に加入する方は、市町村に届け出をして保険証を受領し、保険税を納めます。

病院などにかかるときは、保険証を提示し、医療費の一部（2～3割）を支払います。

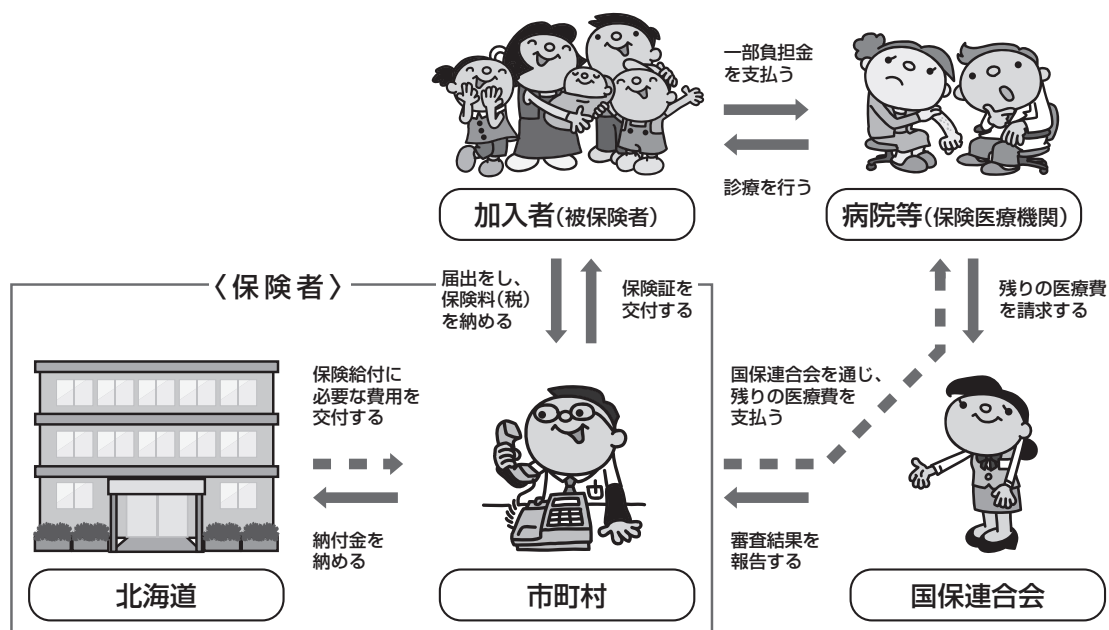
市町村は、保険証の発行や医療給付などの窓口業務及び保健事業等を実施するとともに、保険税を徴収し、それを財源として納付金を北海道へ納めます。

北海道は、医療給付の費用を市町村へ交付します。

～国民健康保険の課題と取り組み～

医療費負担の増加が課題となっていることから、村では生活習慣病の発症や重症化を予防するための特定健康診査受診勧奨の強化や、病院の通り過ぎ、薬の飲み過ぎ、もらい過ぎを防ぐ取組を進めています。また、特定保健指導やジェネリック医薬品使用促進などの取組も行い、村民の負担軽減を図ります。

担当 各種給付：住民課住民グループ
国保税：住民課税務納納グループ



介護保険特別会計

3億3,060万円

介護保険特別会計の基金（貯金）残高

880万円

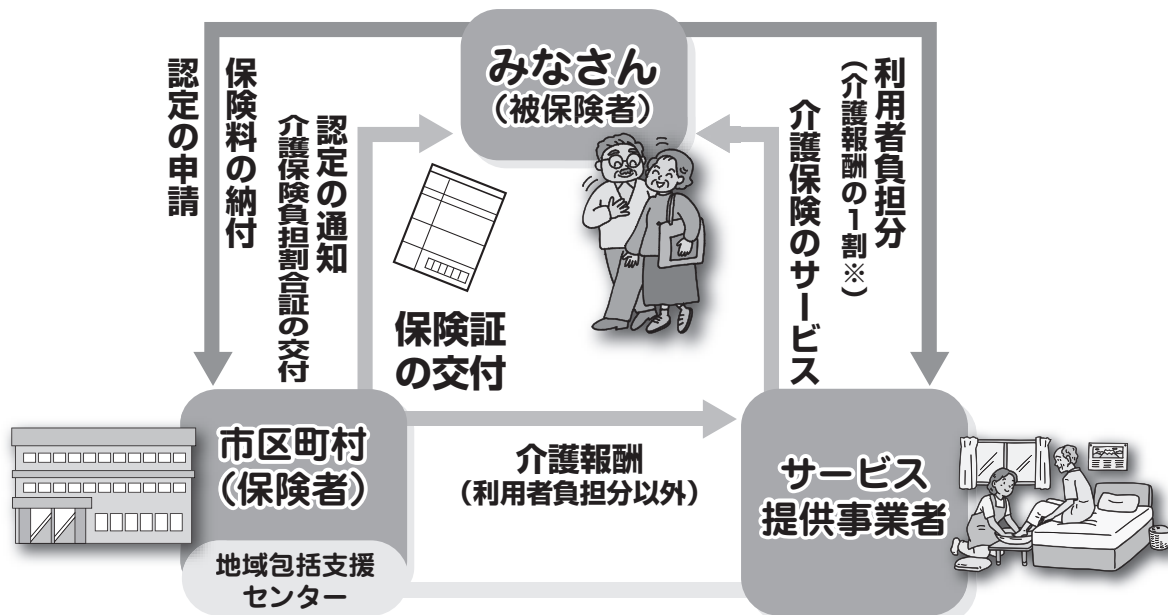
(令和3年度末見込)

<介護保険のしくみ>

40歳以上の方が被保険者となって納めた保険料と国・道・村（一般会計）が負担する公費によって運営され、介護が必要となったときに介護保険のサービスを利用することができます。また、介護が必要な状態になることを予防し、日常生活を元気に送っていただけるよう介護予防教室等も実施しています。

65歳以上の方は第1号被保険者、40～64歳の方は第2号被保険者といいます。
(40～64歳の方の保険料は医療保険に含めて納めています。)

介護保険制度のしくみ



※一定以上所得者は2割または3割になります。

<介護保険料について>

3年ごとに見直す、「高齢者保健福祉計画・介護保険事業（支援）計画」において、高齢化の状況や要介護認定者数、介護保険事業に必要な費用等を推計した結果、第8期計画の期間（令和3年度～令和5年度）の3年間は、第1号被保険者の基準保険料月額を第7期より1,000円増の5,000円としています。

健康な高齢者が増え、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が包括的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築に努めます。

(担当 福祉課福祉グループ)

■地域まるごと元気アッププログラム(まる元)

事業費 437万円

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、個々のレベルに応じた筋力トレーニングを続けることで、要介護状態等への進行を抑制します。(転倒予防、けがの予防、動きの向上、認知症予防)

健康運動指導士の資格を持つ講師が、安全・安心・科学的な運動指導を行います。

●対象者：65歳以上の方で、要介護認定を受けていない方（ただし、要介護1の方は状態により可）

■初級コース

実施日：毎週火曜日（祝日を除く）

時 間：上札内クラス（上札内交流館）

10時30分～11時30分

まちなかクラス（農村環境改善センター）

15時00分～16時00分

■中級コース

実施日：毎週火曜日、水曜日（祝日を除く）

時 間：火曜日クラス（農村環境改善センター）

13時30分～14時30分

水曜日クラス（農村環境改善センター）

10時30分～11時30分

●利用料：月1,000円

●送 迎：初級クラスで移送サービス登録者のうち希望される方

●その他実施予定

- ・お元気度測定会

地域に住む高齢者を対象に、日常生活に必要な動作を測定します。データを分析し、参加者及び自治体に結果を提供してもらうことで、地域での介護予防の取り組みを推進します。

- ・結果説明会兼講演会

お元気度測定会の結果説明会と北翔大学の教授による講演会を行います。測定値の維持、改善に向けての運動方法について解説します。

生活支援体制整備事業事業費 645万円

高齢者が増加する中、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、生活支援体制整備を推進していく必要があります。そのため地域のニーズ把握や各サービスの見直しを行うとともに、元気な高齢者の役割を考えることにより高齢者の社会参加や生きがいづくりにつながることも期待されます。

●内容（社会福祉協議会へ委託）

- ・生活支援コーディネーター（社会福祉協議会職員）と地域住民との意見交換
- ・地域のニーズ把握
- ・各サービスの見直し、課題の発見
- ・新しい資源の開発
- ・高齢者の生きがいづくり

在宅医療・介護連携推進事業 379万円

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、切れ目ない在宅医療と介護の提供体制を構築するため、医療機関と介護サービス事業所の連携を調整するコーディネーターを更別村と共同配置します。

●内容

- ・在宅医療・介護連携に関する相談支援および関係機関との調整（入退院支援、病棟訪問、主治医からの説明に同席、訪問診療・訪問看護の調整など）
- ・地域住民への普及啓発活動の実施（講演会開催、出前講座など）
- ・医療・介護関係者との情報共有、課題検討

後期高齢者医療特別会計

7,980万円

<加入対象者>

75歳以上の方（一定の障がいのある場合は65～74歳も対象です。）

<後期高齢者医療制度のしくみ>

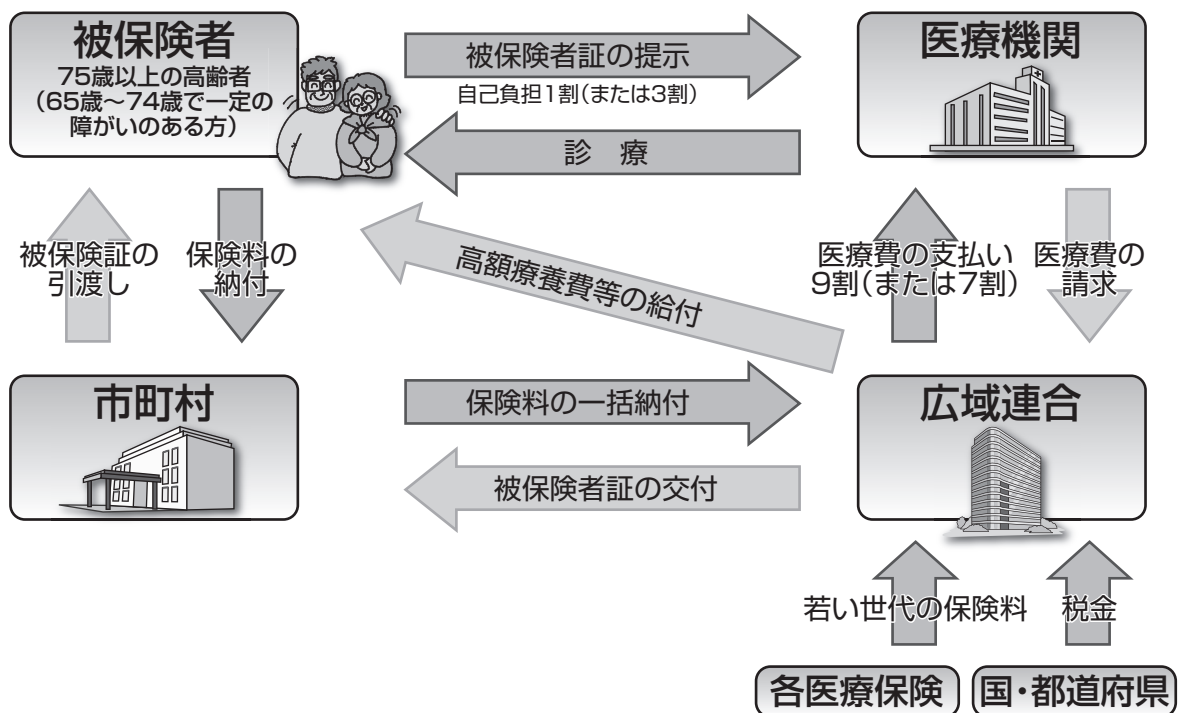
道内の市町村が加入する「北海道後期高齢者医療広域連合」が制度を運営しています。

保険料の徴収や窓口業務（申請・届出の受付など）は、市町村が行います。

保険料の他、国・道・市町村（一般会計）の負担によって事業を運営しています。

<後期高齢者医療の課題と取り組み>

高齢化の進展による被保険者数や医療費の増加とともに療養給付費に係る負担金は増加が見込まれており、若年層のときから病気の予防、早期発見・治療に努め、医療費を増やさないための取り組みを推進していきます。



(担当 住民課住民グループ)

簡易水道事業 / 公共下水道事業

<会計方式を変更しました>

経営状況の的確な把握による経営の効率化と持続的なサービス提供のため、国の要請に基づき、令和4年4月1日から簡易水道事業と公共下水道事業に地方公営企業法の適用を開始し、これまでの官庁会計から公営企業会計へ会計方式を変更しました。

今回の変更では、料金など使用者の皆様直接影响到する変更はありません。

<公営企業会計導入のメリット>

公営企業会計では、今までの官庁会計方式では把握できなかった、フロー情報（経営の成績）とストック情報（財政の状況）が明らかになるため、より適切な検証や対応が可能となります。

今後、資産や負債、経営状況を的確に把握し、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組みます。

（例）・緊急度に応じた更新投資の優先順位検討など資産管理の適正化

- ・中長期的な視点での適切な料金設定の検討
- ・中長期の経営見通しに基づく経営基盤の強化 など

簡易水道事業会計

浄水場の建設や水道管の布設から約50年が経過し、老朽化対策が必要となっており、浄水場の機器や水道管などについて計画的な更新を行っています。

●高区配水池耐震補強工事

配水池とは、浄水場の水を一時的に貯留し、需要量に応じ配水を制御する施設です。耐震診断の結果、耐震性能を満たしていないため補強工事を行います。

事業費 6,122万円

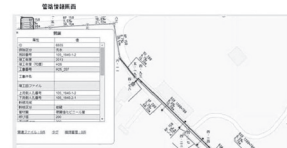
●非常用発電機購入

停電時の電源を強化し、災害時に水質を維持し安定した水の供給を行うため発電機を購入します。

事業費 810万円

●水道台帳図作成委託

現在、紙で保有している水道管等の情報をデータ化して管理を行います。検索性が向上することで、災害時や緊急時のより迅速な対応が可能となります。



事業費 836万円

公共下水道事業会計

下水処理を行う浄化センターの建設から約25年が経過し、機器類の更新時期を迎えています。平成27年度以降、国の補助金を活用しながら計画的に更新を行っています。

●終末処理場処理施設工事

浄化センター水処理コントロールセンターなどの更新を行います。

事業費 1億2,800万円

●下水道台帳図作成委託

現在、紙で保有している下水道管や公共桧等の情報をデータ化して管理を行います。

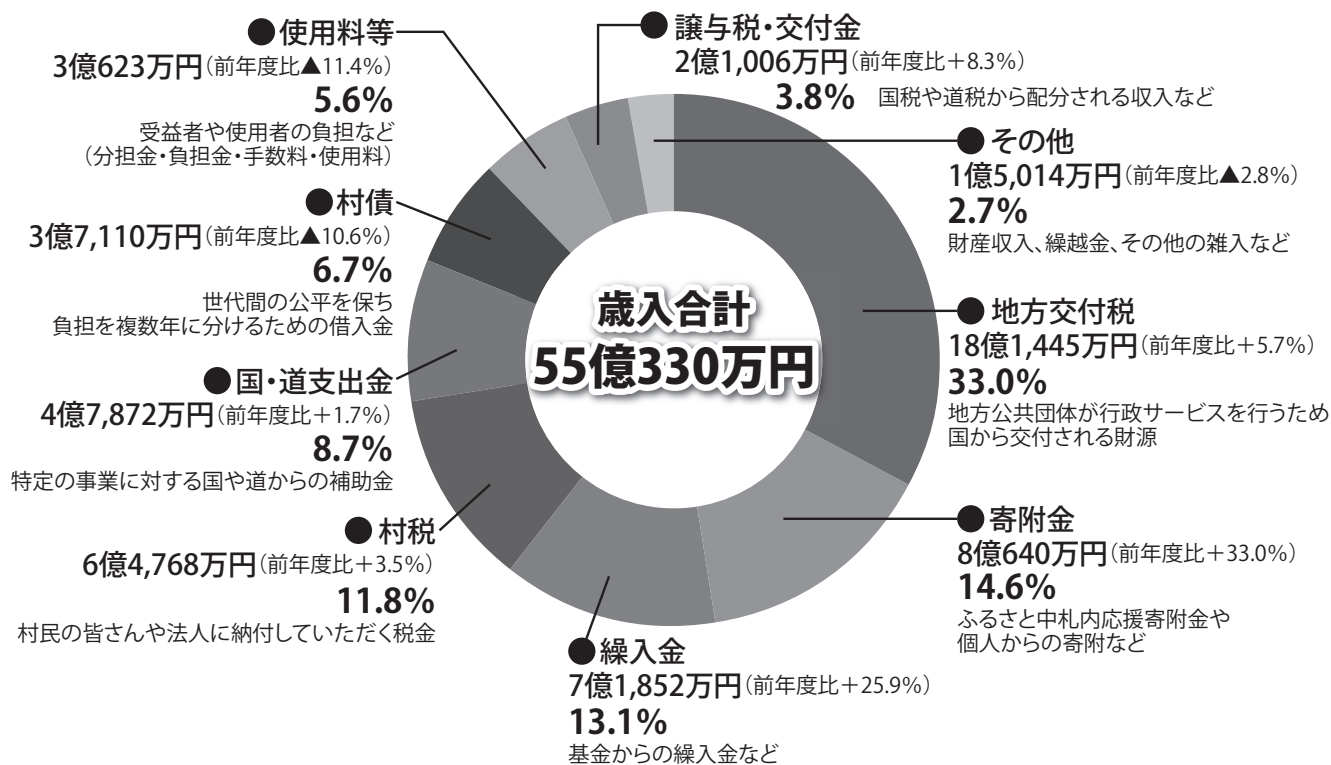
事業費 836万円

（担当 施設課施設グループ）

一般会計歳入の概要

一般会計の予算額 55億330万円 (前年度比7.9%増)

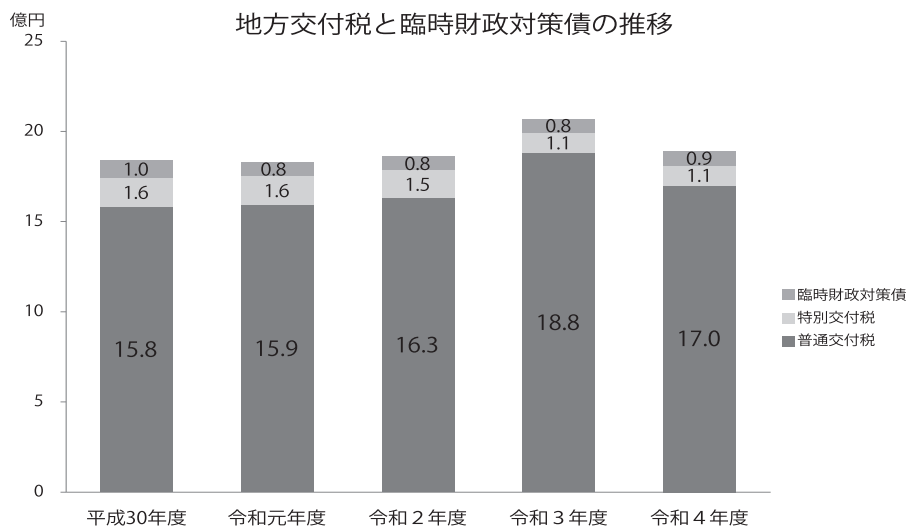
歳入予算の内訳



●地方交付税

普通交付税については、交付対象事業費の増減や交付単価の見直し等により前年度比1.8%減の17億円を見込んでいます。

また、災害などの特殊要因に対して配分される特別交付税については、近年の交付額を参考に前年度と同様1億1,000万円を見込んでいます。



※平成30年度～令和2年度は決算額、3年度は最終予算額、4年度は当初予算額です。

●村債（地方債）

年度間の財政負担の平準化や世代間負担の公平性のために行う借入金のことを地方債といいます。役場庁舎建設（令和元年度から3年度まで）に係る地方債を借りた影響から、借入額が増加傾向にありましたが、令和4年度の借入予定額は3億7,110万円と前年度から10.6%減となります。

令和4年度の村債借入予定

(万円)

村債の種類	金 額
臨時財政対策債	8,500
公共施設等適正管理推進事業	
公共施設解体撤去事業	5,130
除雪センター長寿命化事業	1,590
道路長寿命化事業	1,350
中札内小学校長寿命化事業	1億2,050
上札内小学校脱炭素化事業	620
辺地対策事業	
国営施設応急対策特別事業	1,630
西札内林業専用道路整備事業	680
元更別林道橋梁整備事業	220
公営住宅建設事業	2,750
緊急防災・減災事業	
消防施設整備事業	1,560
上札内交流館発電機整備事業	1,030
合 計	3億7,110

●繰入金

基金には、財源不足に対応するための財政調整基金、借入金の返済に対応するための減債基金、各目的に対応するための特定目的基金があります。

今年度の基金からの繰り入れ（貯金の取り崩し）は、7億1,852万円（前年度比25.9%増）を予定しています。今年度、基金から繰り入れて実施する事業は下記のとおりです。

財政調整基金 1億5,400万円
(一般会計の歳入不足の補てん)

減債基金 1億5,730万円

役場新庁舎建設事業	1億1,540万円
国営施設応急対策特別事業札内川負担金	4,190万円

特定目的基金 4 億722万円

公共施設等整備基金 (1 億2,890万円)

公共施設解体撤去等工事	570万円	堆肥化处理施設舗装補修工事	3,200万円
道営担い手畑総事業負担金	1,800万円	道営農道整備特別対策事業負担金	3,470万円
道路改良舗装工事	1,260万円	外部塗装・屋上防水等工事(中札内小学校)	1,340万円
教室増設改修設計委託(中札内中学校)	720万円	ホールステージ床改修工事(文化創造センター)	530万円

豊かな環境等創成基金 (1,382万円)

美しい村連合負担金	66万円	景観アドバイザー事業	28万円
屋外広告物解体撤去工事	90万円	日高山脈国立公園化PR事業	240万円
花づくり推進費	330万円	桜六花公園整備	396万円
道道歩道除草対策	232万円		

福祉基金 (1 億8,449万円)

高齢者安全運転サポート補助金	204万円	高齢者民間バス助成事業	300万円
乳幼児等医療費助成	300万円	出産祝金	155万円
七色献立プロジェクト事業	500万円	鉄道記念公園改修工事	1億6,990万円

食と農業農村振興基金 (1,775万円)

元気な農業サポート事業補助金	700万円	食の推進パートナーPR事業	140万円
地域担い手育成総合支援協議会補助金	15万円	農産物集積場(堆肥場)設置補助金	150万円
大規模草地育成牧場施設改修工事等	770万円		

ふるさと活性化基金 (1,573万円)

ふるさとづくり事業補助金	493万円	六花の森イベント事業補助金	800万円
ファイターズ応援大使PR・イベント事業補助金	280万円		

森林環境整備基金 (291万円)

造林推進事業補助金	254万円	林道補修	37万円
-----------	-------	------	------

中小企業新型コロナウイルス対策基金 (79万円)

中小企業振興資金利子補給補助金(新型コロナウイルス対策特例分)	79万円
---------------------------------	------

永井明奨学金基金 (616万円)

永井明奨学資金貸付金	616万円
------------	-------

商工業振興基金 822万円

にぎわいづくり起業家等支援事業補助金	822万円
--------------------	-------

文化振興基金 970万円

文化振興奨励事業補助金	300万円
音まちプロジェクト事業等	670万円

スポーツ振興基金 135万円

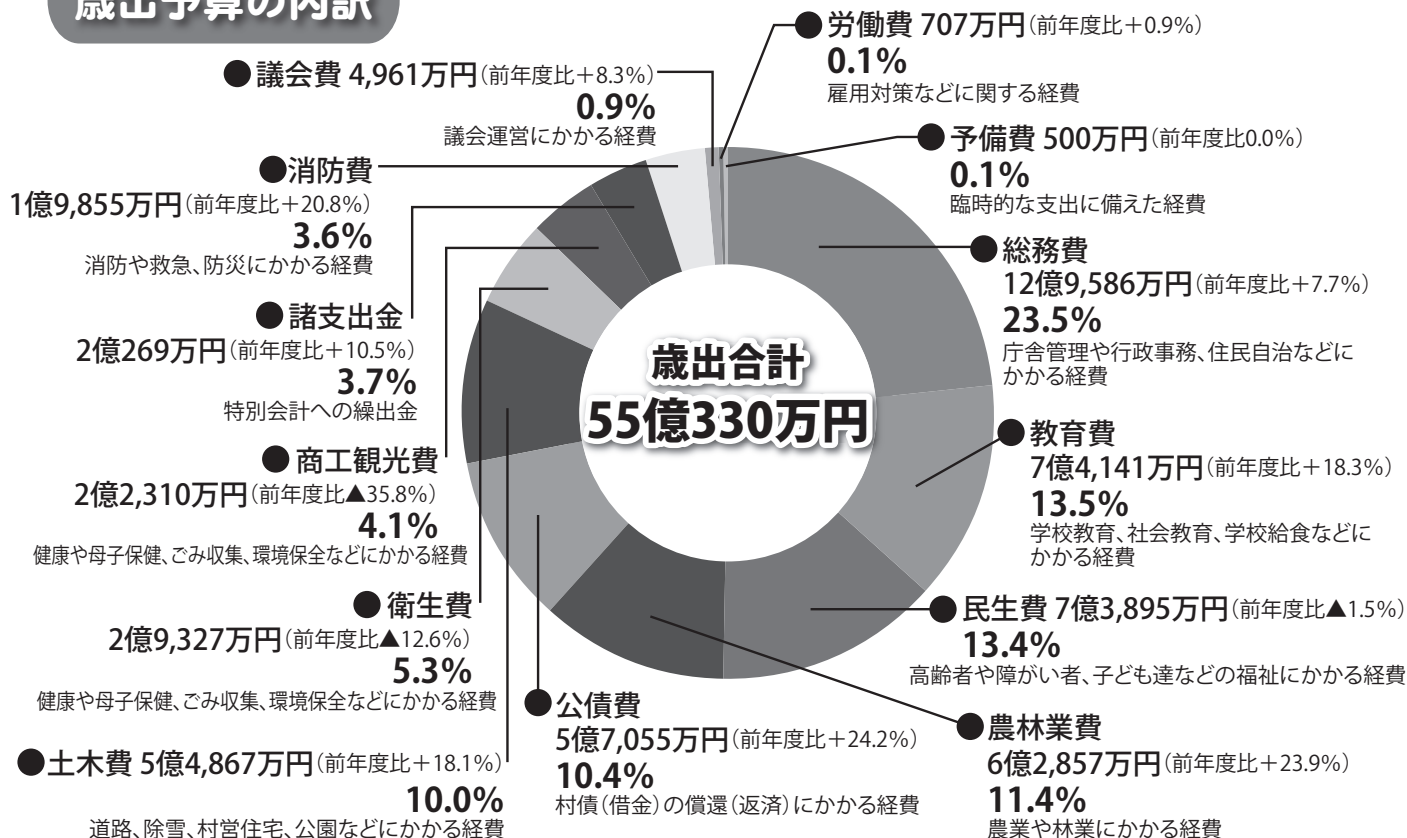
スポーツ振興奨励事業補助金	135万円
---------------	-------

教育振興基金 1,740万円

高等学校就学支援対策事業補助金	1,296万円	通学費等助成事業補助金	180万円
山村留学事業	233万円	検定料補助金	31万円

一般会計歳出の概要

歳出予算の内訳



令和3年度に道の駅の改修事業を行ったことから、商工観光費が大きく減少しました。令和4年度は林道整備を予定していることなどから、農林業費が前年度比+23.9%の1億2,139万円の増となります。

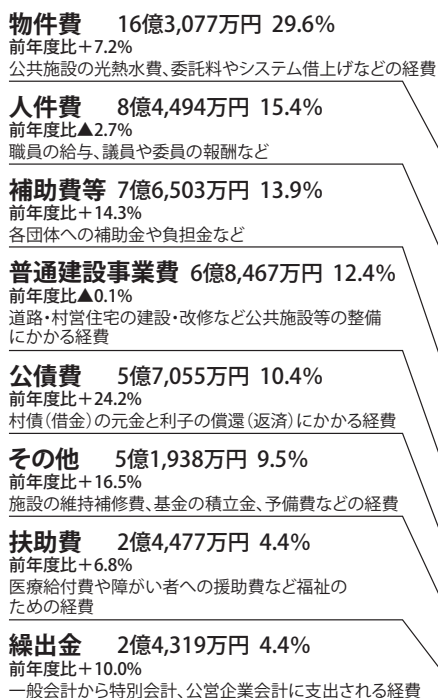
性質別に見た予算

一般会計の歳出予算を性質別にみると、物件費の構成割合が一番高くなっています。

物件費は、ふるさと納税の経費など総額を8億円としたことから、16億3,077万円（前年度比7.2%増）となりました。

補助費等は、高等学校就学支援対策事業補助金などにより、14.3%増の7億6,503万円となりました。

公債費は、新庁舎建設工事に係る地方債の繰上償還額の増などにより、昨年度より24.2%増の5億7,055万円となりました。



村の財政状況はどうなっているの？

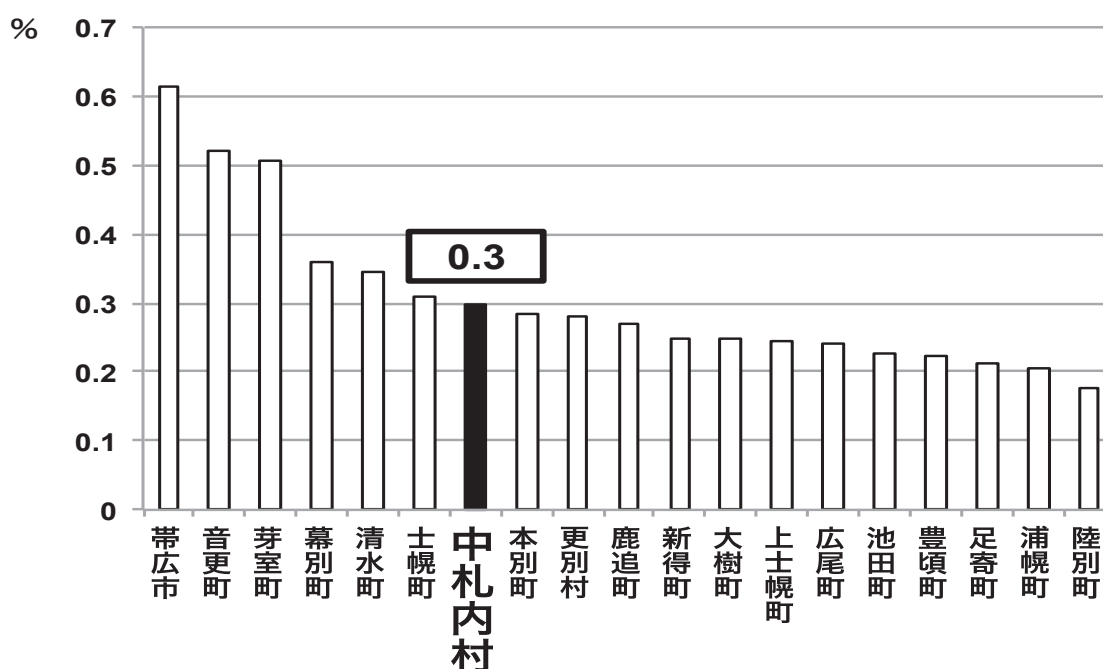
村の財政状況は健全なのか、健全ではないのかを判断する指標（指数、比率などのものさし）にはいくつかの種類があります。分かりにくい指標が多いのですが、村の財政状況を把握し、健全性を判断するために重要な指標です。

令和2年度決算の主な指標をもとに、村の財政状況を見てみましょう。

①財政の体力を示す「財政力指数」 中札内村は 0.30

全国の市町村等の財政力を同じ尺度で測るための指数で、標準的にかかるお金に対して、自主的な収入（村税や各種使用料等）がどの程度あるかを示す指標です。数値が「1」であれば、100%自主的な収入で運営できることになります。

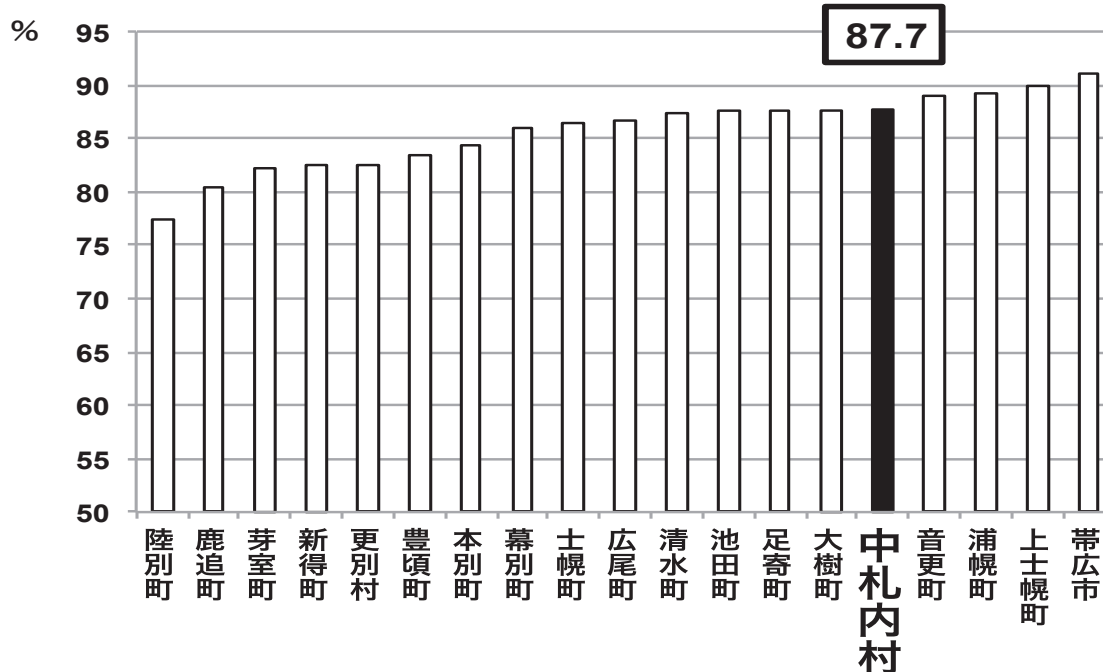
中札内村は「0.30」（前年度 0.29）ですので、70%を国からの財源（地方交付税や国庫支出金等）に頼っていることになります。



②財政の自由度を示す「経常収支比率」 中札内村は 87.7%

村税や地方交付税など使途が特定されずに毎年入ってくるお金（経常的な収入）に対して、人件費や施設の維持管理、借入金の返済等に係る費用など毎年支払わなければならないお金（経常的な経費）がどの程度の割合になるかを示す指標です。数値が「100%」の場合は、自由に使える収入が、すべて支払わなければならない経費に使われるため、その年に自由に使うお金はゼロということになります。

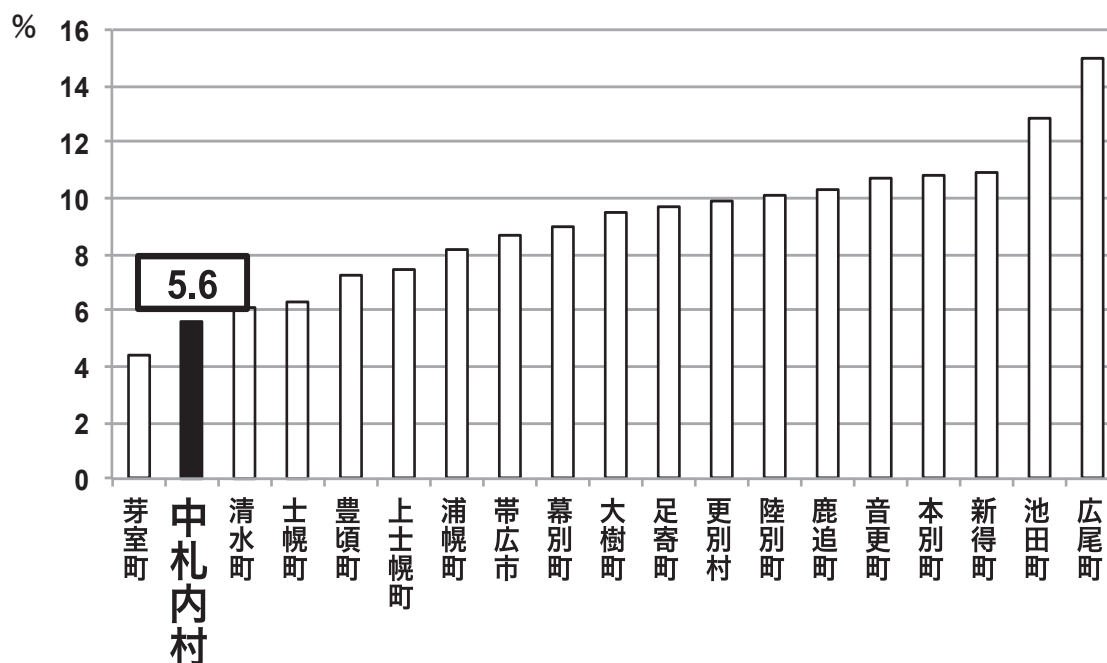
中札内村は「87.7%」（前年度 86.5%）ですので、自由に使えるお金は 12.3%ということになります。維持補修費・人件費などの増により自由に使えるお金が少なくなったため、前年度から 1.2 ポイント上昇しました。



③借金の負担を示す「実質公債費比率」 中札内村は 5.6%

村税や地方交付税など使途が特定されずに毎年入ってくるお金（経常的な収入）に対して、借入金の返済に係る費用（公債費）がどの程度の割合になるかを示す指標です。数値が高いほど借入金に依存しているといえます。

中札内村は「5.6%」（前年度 5.7%）となっています。



主な指標に基づく村の財政状況は、現在は健全な状況にあると言えます。

しかし地方交付税の動向や、国・地域経状況などにより大きく左右されます。つまり「財政指標が健全であることと、村の会計が裕福であるかどうかは別問題」なのです。先行き不透明な情勢でも継続したまちづくりを行うため、今後も健全な財政運営をしていく必要があります。

村の借金はどれくらいあるの？

村は毎年借金の返済を行っており、令和3年度末の借金残高（見込）は、およそ47億円あります。令和元年度から令和3年度にかけて新庁舎建設工事に係る地方債を借り入れたことから、前年度より増加しました。財政の健全化を保つため、これらの地方債については繰り上げ償還を検討しています。

◎村の借金（地方債）残高（令和3年度末見込）

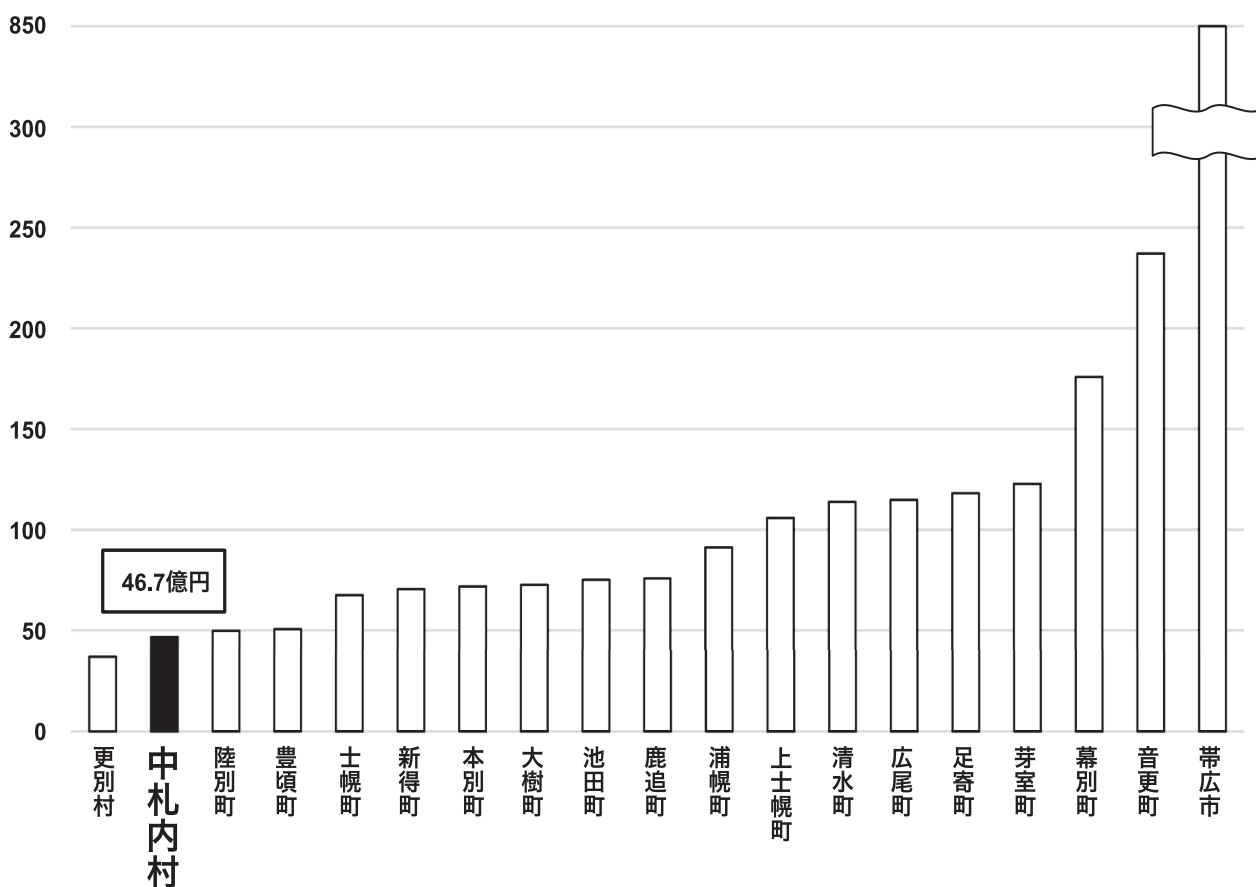
一般会計

46億7,707万円

（前年46億6,541万円）

★十勝管内の借金（地方債）ランキング★ （一般会計分・令和2年度決算値）

億円



村の貯金はどれくらいあるの？

村の貯金（基金）は、使用目的ごとに積み立てをしており、一般会計に14種類、特別会計等に4種類あります。その種類は、災害などの緊急時や借金の返済、また福祉・教育・文化振興・産業などがああります。

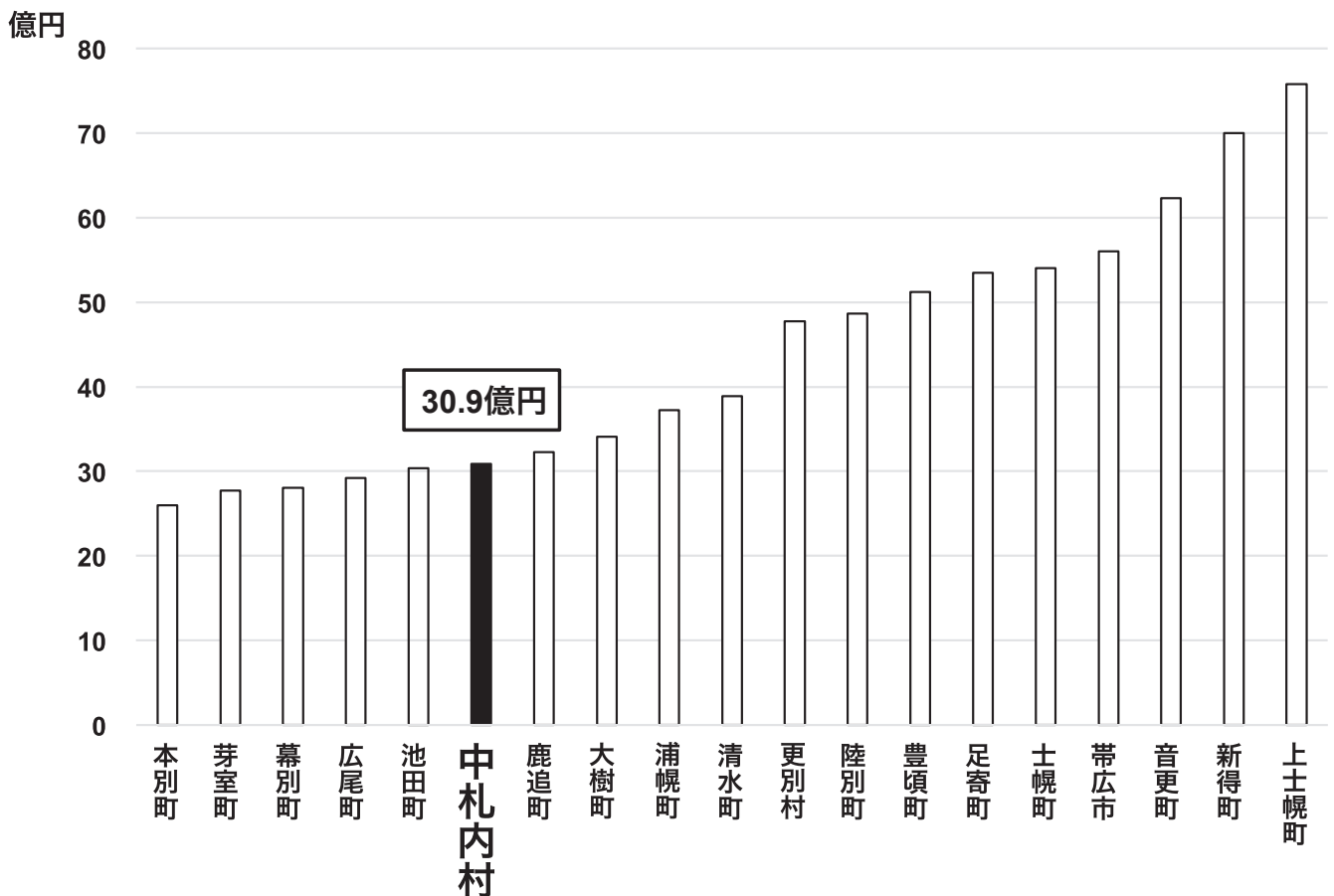
今後、建物や道路の老朽化による維持改修などが予想され、また村の収入の大部分を占める地方交付税の動向が不透明であることから、安定した財政運営のために貯金を確保しています。

令和元年度以降、ふるさと納税による寄附金の積立額が大幅に増加していますが、新庁舎建設や道の駅改修などにより取崩額も増加しているため、令和3年度末残高は一般会計で比較すると前年度から減少する見込となります。

◎村の貯金（基金）残高（令和3年度末見込）

一般会計	30億 806万円
その他基金	8億6,462万円
（国民健康保険事業基金、介護保険事業基金など）	

★十勝管内の貯金（基金）ランキング★ （一般会計分・令和2年度決算値）



■骨格予算

骨格予算とは村長改選期を控えている年度の予算で、政策的な判断を必要とする事業などを極力除き、人件費や公債費などの義務的経費、継続事業など必要最低限の事業費を計上した予算のことです。政策的な判断を要するとして骨格予算から除かれた事業や新規事業については、村長改選後に検討し、補正予算として骨格予算に加えられます。これを「肉付け予算」と言います。

■地方交付税

どの地域に住む人にも一定の行政サービスが提供できるよう、国税のうち所得税・法人税・消費税・酒税の一定割合の額など（実際にはこれだけでは財源が不足しており、特例措置として不足分が加えられています）を、一定の基準により計算し、国から地方に交付するもので、普通交付税と特別交付税（災害対策や特別な財政需要のため）に分けて交付されています。普通交付税は、自治体ごとに財源が足りない分を計算し、原則としてその不足分が交付されます。

普通交付税の算出式

普通交付税額（財源の不足額）＝基準財政需要額－基準財政収入額

基準財政需要額とは

自治体が標準的な水準の行政を行うために必要な経費を決められた方法で計算した額

基準財政収入額とは

自治体の標準的な収入として決められた方法で計算した額

■臨時財政対策債

地方交付税の不足分を補う借入金（赤字地方債）です。

通常の地方債は建設事業などの投資的な事業を行うためにしか借入することができませんが、臨時財政対策債は地方交付税の振り替えであるため、用途が特定されていません。

なお、その費用は後年度に普通交付税で全額補てんされることとなっています。





予算 2022

令和4年度 予算の概要



the most beautiful
villages
in japan

「日本で最も美しい村」連合

中札内村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています

■ 発行 中札内村
■ 企画 総務課企画財政グループ

TEL.0155-67-2491 FAX.0155-68-3911

Email: s-kikaku@vill.nakasatsunai.hokkaido.jp

URL: <https://www.vill.nakasatsunai.hokkaido.jp>